

第15回 国際高校生フォーラム in 倉吉2016

実 施 要 項

鳥 取 県 立 倉 吉 東 高 等 学 校
国際高校生フォーラム実行委員会

1 趣 旨

高校生が独自の自由な発想を生かして、現代社会の諸問題に真正面から取り組み、その解決策を模索し、学校・地域・国境を越えた意見交換をするなかで、高校生として今考えうる最大限可能な提言をまとめ、将来の日本および世界に貢献できる資質を身につける。

2 目 的

- (1) 広い視野と深い問題意識をもち、公正で逞しいリーダーとして次代を担う高い志をもつ生徒の育成。
- (2) 効果的な表現方法を用い、説得力のあるプレゼンテーションができる生徒の育成。
- (3) 広汎な交流と知的・社会的刺激の授受により高度な学びへ向かう主体的生徒の育成。

3 活動内容

- (1) 所定のテーマにもとづいて調査・研究・思索したことをもとに、
- (2) 視聴覚機器を効果的に使ってプレゼンテーションしながら、
- (3) 自分たちの主張や提言としてまとめ、発表する。
- (4) 質疑応答と相互評価を展開し、
- (5) 最後に有識者による講評・表彰（最優秀校・優秀校）を行う。

4 テーマ

- (1) 生徒が興味をもって主体的に取り組むことができ、かつ今日的・将来的に大きな社会的意義をもつもの。
- (2) 思索や議論に幅と広がりがあり、お互いの認識がともに深められるもの。
- (3) 今年度のテーマ

「緊急指令、国際テロリズムに対処せよ」

【趣旨説明】

1945年の第2次世界大戦終結後、世界を揺るがすような大規模戦争は暫く起きなかった。その後、朝鮮やベトナム、アフガニスタンなど各地で戦争や内戦が起きたが、これらは局地的なものであり、米国と旧ソ連の関係も冷戦下で敵対関係にとどまっていた。

その間、西側諸国は共存共栄関係を築き上げて繁栄し、冷戦終結後はロシアや東欧にも西欧近代が目指した自由、平等、経済的繁栄といった諸理念が拡大し、近い将来地球規模で平和的な世界が到来するかに思われた。

ところが、西欧を中心とした近代化の流れに異議を唱える人々が様々な過激派勢力となって、2001年9月11日、アメリカ合衆国で3000名以上の人たちが亡くなるという同時多発テロを発生させ、全世界を震撼させた。さらに2005年にはロンドンの地下鉄で、2015年にはパリで同時多発テロを発生させるなど、世界はいま従来の国家間の戦争とは明らかに異質な、新たな脅威に直面している。

そこで、21世紀の世界平和を実現する主体である高校生として、この問題の所在を構造的に捉えた上で、国際社会が協調してこのテロリズムにどう対処していけばよいか、明確に提言してほしい。

5 プレゼンテーション条件

- (1) 確かな裏付けにもとづいて一つ以上の明確な解決策を提示すること。
- (2) 視聴覚機器、パソコン等を用いること。なお、プレゼンテーションソフトは「パワーポイント」を基本として作成することとする。
- (3) 発表時間は1校20分以内とする。

6 主 催 鳥取県立倉吉東高等学校 国際高校生フォーラム実行委員会

7 後 援 鳥取県教育委員会、日本マイクロソフト株式会社

8 参加・招待校

全国公立高校の中で、趣旨に賛同し代表生徒（5名以内、学年は問わない）を派遣できる高校。

参加高等学校（予定）

- ・長野県松本深志高等学校 ・島根県立松江北高等学校 ・徳島県立脇町高等学校
- ・鳥取県立米子東高等学校 ・鳥取県立鳥取西高等学校 ・大韓民国京畿道安養高等学校
- ・鳥取県立倉吉東高等学校 以上 7校

9 日程・会場

(1) 期 日 平成28年7月30日（土）～8月1日（月）の3日間

(2) 会 場 （第1日、2日） 鳥取県倉吉市駄経寺212-5

鳥取県立倉吉未来中心 TEL(0858) 23 - 5390

（第3日） 鳥取県倉吉市上井町1-9-2

ホテルセントパレス倉吉 TEL(0858) 26 - 8888

(3) 日 程

第1日 7月30日（土） 会 場 倉吉未来中心 大ホール

時 刻 : 15:00～16:45

午 前 : 会場準備・発表予行

午 後 : 校内実行委員会・発表予行

開会行事・基調講演・情報交換会（17:00～）

第2日 7月31日（日） 会 場 倉吉未来中心 大ホール

時 刻 : 9:20～16:20

午 前 : 各参加校のプレゼンテーション

午 後 : 各参加校のプレゼンテーション

討論・まとめ・講評・表彰

レセプション（18:00～ 会 場 ホテルセントパレス倉吉）

第3日 8月 1日（月） 会 場 ホテルセントパレス倉吉

時 刻 : 9:00～10:30

午 前 : 閉会行事・講評・特別講義

交流行事（閉会后）

10 ゲストコメンテーター

佐藤安信 東京大学大学院総合文化研究科教授、弁護士

菅原鈴香 独立行政法人国際協力機構（JICA）国際協力専門員

スケジュール表

時間 期日		会 場 ： 倉吉未来中心（大ホール他）、セントパレス倉吉									
		9:00	10:00	12:00	13:00	15:00	17:00	19:00	20:00		
7月30 日（土）		会場 準備	発表予行 ①② 10:00 ～ 11:45	昼食	校 内 実行委員会 （セミナ-ル-ム No.3）		受 付	開会行事 基調講演 15:00 ～ 16:45	移 動	情 報 交換会 （セミナ-ル-ム No.5） 17:00 ～	
					13:00 ～ 発 表 予行 ③	会場準備				発表予行 ④⑤⑥ 17:15 ～ 19:00	
7月31 日（日）		会場 準備	プレゼン テーショ ン ①～③ ④～⑤ 9:20 ～ 11:40	昼食	プレゼ ンテー ション ⑥⑦ 12:30 ～ 13:20	討 論 まとめ 講 評 表 彰 13:35 ～ 16:20			会場 移動	レセプシ ョン（ホテ ルセントパレ ス倉吉） 18:00 ～	
8月1日 （月）	写真 撮影	講 評 特別講義 閉会行事 （ホテルセント パレス倉吉） 9:00 ～ 10:40		交 流 行 事							